

一畑電鉄デハニ 50 形



18期C組 A. H

一畑電鉄デハニ 50 形とは？

昭和3年の一畑電鉄北松江線小境灘駅（現一畑口駅）～北松江駅（現松江しんじ湖温泉駅）間の北松江線開通後、昭和5年大社線開通に備え新造された荷物室付車両である。平成7年、鉄道友の会『エバーグリーン賞』を受賞し、畳敷のお座敷列車に改造され、レトロ電車やビール電車、臨工列車として使用されていたが、保安上の問題から、平成21年営業運転を終了した。引退後、「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」の撮影で使用された。現在デハニ52が、出雲大社駅で一般公開され、デハニ53が雲州平田駅での体験運転用として使用されている。（参考一畑電鉄HP）

デハニ 53 現在の所在地、雲州平田車庫（写真は、車庫入口）



内装
鎧戸



つり革



荷物室



運転台



運転室



その他

信号炎管、消火器



信号炎管とは、事故があったときに後続・対向列車に知らせるためのもの。自動車の発煙筒に似ている。

銘板 昭和 32 年に改造した理由は不明

